

# 令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

宮古の産業まつりにおける島産材普及PR

11月2日（日）～3日（月）

令和7年11月2～3日に「第48回宮古の産業まつり」が開催され、宮古農林水産振興センターから1ブース出展した。今年の産業まつりは「ResorTech EXPO in 宮古島」と共同開催のため、JTAドーム宮古島で開かれた。

本センターの出展では宮古島産材に関する普及啓発を目的とし、島産材を利用した寄木コースターの作成体験を行った。今回使用した材は、島産材（イヌマキ、テリハボク、フクギ、リュウキュウコクタン）と県産材（リュウキュウマツ、クスノキ）であり、それぞれの木の特徴を説明すると、皆興味深く聞き入り、実際に材片を手にとると、色の違いや香りを楽しんでいる様子であった。

また、ブース内では県産木製品の展示と、沖縄の森林・林業や県産きのこに関するPR動画の上映を行った。多くの方が展示及び動画に足を止めてくださり、木製品を手に取り手触りや温もりを楽しむ方や、木工者を紹介してほしい、という声も多く寄せられ、県産木製品のPRに大きく寄与できたと実感した。沖縄の森林・林業や県産きのこに関するパンフレットを手にとる方も多かった。

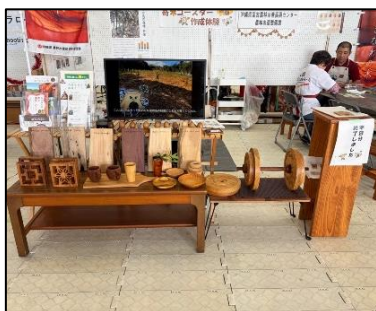
引き続き宮古島内の森林・林業の取り組みに関して普及啓発活動をすすめていきたい。



▲木の紹介の様子



▲コースター作成体験の様子



▲木製品展示



▲木製品の説明の様子



（報告者：宮古農林水産振興センター 仲宗根・玉城・山城）